

掌の詩

ーテノヒラノウターー



青木寿美子展

2026.9.20_{sun} - 12.27_{sun}

〔開館日〕水・木・土・日曜日 11:00～16:00(入館は15:30まで) 〔休館日〕月・火・金曜日

〔会 場〕緑ヶ丘美術館・本館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘2731-10 入場無料

〔URL〕<http://mam-museum.com> 〈お問い合わせはFAXで:FAX 0743-85-7880〉

〔主 催〕菅野勇利生誕100年記念実行委員会

〔共 催〕一般財団法人けやき並木・緑の杜財団

〔協 力〕滋賀県立陶芸の森



一般財団法人

けやき並木・緑の杜財団



MAM Collection



Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

Sumiko Aoki

2026 Ceramic Art Exhibition
at Midorigaoka Art Museum in Nara, Japan

何ものにも縛られぬ自由な感性で
詩情豊かな作品をつくり出す

手捻りでつくった器をキャンパスに見立て、インスピレーションに従い絵を描く青木寿美子。掻き落としの技法で表現する多彩な模様は時に建物を、時に緑の木々を思い起こさせ、物語のような世界観を形づくる。自らの心象風景を投影し形にする様子は、さながらその場その場で言葉を紡ぎ出す即興詩人のようだ。そうして絵を描き上げた器に彩りを与えるのは、故郷愛知に伝わる織部・黄瀬戸といった伝統的な釉薬である。彼女は其の独特の色合いを巧みに活かし、画期的でありながら見る人の心にノスタルジーを呼び起こす唯一無二の作品を成立させていく。「絵本のページをめくるように、器の上に展開される物語を楽しんでほしい」と語る青木寿美子が掌で紡ぎ出す多彩な「詩」の姿を、どうぞご高覧ください。



おりべ壺「宵」 きせと壺「暁」



きせと壺「拍子取り」 おりべ瓶「月不見月」



黒おりべ壺「風見」



おりべ大鉢「方舟」



きせと フリーカップ きせと皿「うらら」

青木寿美子 (あおき すみこ) 略歴<プロフィール>

- 愛知県名古屋出身
名古屋芸術大学美術学部セラミックデザインコース 卒業
愛知県立芸術大学大学院美術研究科陶磁専攻 修了
1996 信楽にて作陶を始める
2000 築窯
2002 国際陶磁器展美濃 入選(2008)
伊丹国際クラフト展 光陽社賞 受賞
2005 朝日現代クラフト展 入選
2010 工芸都市高岡クラフト展 入選
2013 長三賞常滑陶業展「くらしのやきもの展」
長三金賞 受賞(グランプリ)
2014 秀明文化基金賞 受賞
2015 リサ・ラーソンとのコラボレーション
「生命の樹」発表(滋賀県立陶芸の森・滋賀)
Simple Cup Show
(KOBO Seattle・アメリカ/以後毎年参加)
2017 以美為用展(ビラモッテヨウトナステン)
(京都高島屋 美術画廊・京都)
2019 信楽一土の賦 十二人展(柿傳ギャラリー・東京)
2021 信楽一土の賦 十二人展Ⅱ(柿傳ギャラリー・東京)
2022 信楽一土の賦 十二人展Ⅲ 折りの系譜
(柿傳ギャラリー・東京)
霽れと裏のうつわ展
(京都高島屋 美術工芸サロン・京都)
2025 信楽一土の賦 十二人展Ⅳ「間、移ろい」
(柿傳ギャラリー・東京)
個展(paper boat press・オーストラリア)
2026 個展(柿傳ギャラリー・東京)

パブリックコレクション

滋賀県立陶芸の森(滋賀)、緑ヶ丘美術館(奈良生駒)
MIHO MUSEUM(滋賀)

